



変わる教育、GIGAスクール構想って何？

田中 聡 (輝)



問／国が進めるGIGAスクール構想について、現在の取組状況はどうか。

答／児童生徒1人に1台の情報端末環境を目指したGIGAスクール構想の実現に向けた当市の取組については、国の取組に呼応し、本年度に情報端末の通信環境を整えるための高速大容量の通信ネットワークの整備を実施することとされていた。情報端末整備については、国の前倒しにあわせ、これまで令和5年度までとしていた3か年の整備計画を前倒し、極力、令和2年度中に全ての情報端末の整備が完了できるように計画の見直しを進めている。

問／ICTを活用した授業などが加速度的に進むと考えられるが、対応する教員及びICT支援員の状況について聞きたい。

答／市教育センターでの研修会や校内研修などにより教員の指導力向上に努めている。また、学習情報指導員を4人配置し、定期的に小中学校を訪問しながら情報端末や校内ネットワークの保守管理、ICTを活用した授業準備の支援、校内職員研修の支援を行っている。なお、GIGAスクール構想の加速により、国においては情報端末の前倒し整備に係る人的支援として、GIGAスクールサポーターの配置が新規事業に盛り込まれているため、当市でも活用し、情報端末導入初期の体制づくりの準備を進める。



経済活動を再開し活気を取り戻そう！

宮川 大樹 (みらい)



問／緊急事態宣言が解除され、イベントを楽しみにしている市民や市内経済の影響を踏まえると、柔軟な対応が求められると考える。中止が決まった上越まつりなど、一部のイベント復活を検討しているのか聞きたい。また、市の開催状況が民間や町内会の行事に影響していることから、開催可否が決まっていない今秋以降のイベントは、新しい生活様式に配慮しながらできる限り開催し、市内経済や市民生活を通常に戻す必要があると考えるが、どうか。

答／祭りなどの大規模イベントについては、緊急事態宣言の全面解除に伴い、国は新しい生活様式の定着を前提とする段階的な緩和についての基本的対処方針を改定し、8月1日以降においても、広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なもの開催は、中止を含めて慎重に検討することとしている。高田・直江津の祇園祭の実行組織もこれを踏まえ再検討し、令和2年の祇園祭中止の判断を変更しない旨を決定したと聞いている。また、謙信公祭は新しい生活様式に配慮したイベントの実施を検討しており、連まつりや越後・謙信SAKEまつりも各主催者で検討していると聞いている。市は、新しい生活様式を踏まえ開催されるイベントに関係団体と共に取り組み、市内経済の回復と安全安心な市民生活の両立を目指していく。



財政調整基金の活用で暮らしや営業の支援を

上野 公悦 (日本共産党議員団)



問／新型コロナウイルス感染症の影響から市内経済と市民の暮らしはもう限界まで来ている。売上げは例年の1割から2割という状況であり、現在の支援策では不十分である。対象や支援枠の拡大などを国に求めるとともに、市独自でも思い切った財政調整基金の活用で市民の暮らしや事業者の営業を支援すべきではないか。

答／リーマンショック後などを上回る大変厳しい状況にあると認識している。市としても、適宜「経済状況情報共有会議」の開催や市内業者の聞き取り調査等を行い、融資助成や家賃・リース料への助成、中小企業等への市独自の給付やプレミアム商品券発行など、その時に効果的と思われる支援を的確な規模で実施している。

問／雇用をめぐる状況も厳しい。全国では自粛による休業者は600万人を超え、事業者は大変な努力をしているが、従業員解雇や雇止め等も起きている。事業者への雇用継続要請や市独自の雇用保障施策を行うべきではないか。

答／職業安定所の公表データや市の聞き取りの結果、現時点で大規模な企業整備や解雇は起きていないが、今後も最大限の注意を払っていく。

問／鶴の浜温泉の活性化について市の考えは。

答／鶴の浜温泉は市の主要な観光資源であり、同温泉旅館組合との意見交換で新規の補助制度を設計した。今後も活性化に向けた支援を行う。